

# 全国研修の発表を聞いて、就労支援を考えるイベント 「就労系事業所からの一般就労の在り方を学ぶ研修会」 12月3日 開催報告

今年は集まりが  
ないのかな

就労支援を学びたい

皆さんからの情報が  
欲しい

そんな皆さんからの声にお答えし、気軽に情報交換ができるイベントとして実施しました

まずは研修を視聴



「B型事業所からの一般就労への在り方」についての参考研修を視聴し、好事例から支援の在り方を学びました。

B型事業所で1カ所の下請け作業、4カ所の施設外就労先を持ち、地域生活と就労を考えた出口の見える支援を行っているという内容でした。作業場内の構造化・働くことのできる機会の新規開拓など、障がいのある方が社会の中で役割を持ち、社会の一員として社会参加ができることを目指しているという内容でした。

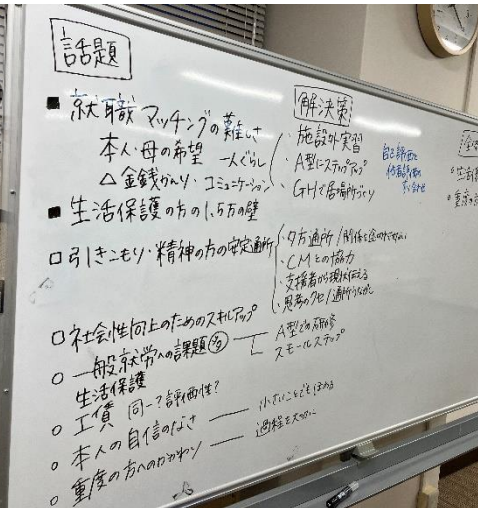


続いて  
グループディスカッション

参加された皆さんは就労支援にも熱心な方が多く、「もっと関わりたいのに・・・」「ステップアップしてほしいのに・・・」と、作業能力が高い利用者さんに対する関わりへのジレンマが話題に上がりました。利用者側の「困っていないので就労への意欲が湧いてこない」という理由の一つとして、生活保護費の収入認定の月額上限 15,000 円の壁が挙げられました。15,000 円以上稼いではいけないと解釈をしている利用者さんが多く、ご自身で利用日数や工賃の調整を行っているとのこと。様々な制度がある中、ご本人の正しい理解を促すこと、ご本人が自分の生活を選択できるための情報を伝えていくことの大切さが話し合われました。また就職を希望している方については、自己理解が進んでいないためにマッチングの難しさを感じているとのこと。事業所内での関わりだけでは限界があるため、施設外実習・施設外就労・A型や移行支援などへのステップアップなど、段階を踏んで力をつけながら自覚を促すような取り組みが必要とのことでした。



参加者から  
沢山の意見が  
出ました



【今後の予定】

12月17日(火)13:30～  
就労支援スキルアップ研修会

2月13日(木)

十勝地域就労支援連絡会  
(詳細は改めてお知らせします)

その他、今回のグループディスカッションで出した意見を参考にした研修も年度内中に開催予定です。気軽に話ができる意見交換会も検討しておりますので、皆さんの参加をお待ちしています。